

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表: 2021年 3月 5日

事業所名 放課後等デイサービス びじょん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		9	1日定員10名でのびのびと活動できるスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である		9	常に現場には3人以上のスタッフを配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		9	生活空間は、ご利用者様の導線に配慮しています。バリアフリーについてはトイレに手すりを設置しています。その他のバリアフリー化については、ご利用者様によって必要性がある場合は、検討していきます。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		9	月に1度、会議を開き、業務改善を進めるために、広く職員が参加できる場を設けています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		9	会議の場を設け、業務改善につなげています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		9	ホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			9	前向きに検討します。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		9	月に1度、内部研修の場を設けています。外部研修にも率先して参加しています。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		9	月に1度の会議にて、スタッフで日頃の様子等話し合いながら課題を分析しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		9		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		9	月に1度の会議にて、話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している		9	個人の成長に合わせた支援のため、個別にプログラムを立てています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		9	平日のプログラムでは、本人の意思を尊重したルーティーンを心がけています。土曜日等は外出レクやクッキング等を実施し、色々な体験をしていただけるように心がけています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		9		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		9	支援開始前にスタッフ間で連絡事項を伝え合っています。	スタッフの集合状況により、多少の誤差は生じる時があります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		9		スタッフの集合状況により、多少の誤差は生じる時があります。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		9	業務日誌を毎日記録し、会議の際に参考にしています。		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している		9	6ヶ月に1度、見直しを行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている		9	自立支援、人権擁護等、国のガイドラインに沿った支援を心がけています。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	随時、連絡を取るよう に心がけています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9		今までに医療的ケアが必要なご利用者様がいなかったため、連絡体制を整えたことはありませんが、今後、必要性がある場合は、適切に連絡体制が取れるようにします。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	相談支援員を介して 情報共有を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		今までに放課後等デイサービスから福祉サービスに移行したご利用者様がいないため、情報の提供をしたことはありません。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	レクリエーションやイベント等で障がいのない子どもと活動する機会を設けています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9	都島子ども部会に積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	送迎時やモニタリング、個別支援計画の説明の際にお伝えし共通理解を持つよう心がけています。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	送迎時等、日ごろの保護者様との会話で、悩みや不安が出た場合、ペアレント・トレーニングの観点から助言をさせていただきます。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	送迎時等、日ごろの保護者様との会話で、悩みや不安が出た場合、療育の観点から助言をさせていただきます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		今年度は保護者会の実施を予定しておりましたが、コロナの感染拡大もあり、様子を見ながら検討していきたいと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	随時、相談や申し入れに迅速に対応させていただいています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	ホームページから当日の様子やレクリエーションの案内等を掲載しています。	
	35	個人情報に十分注意している	9	鍵付き書庫にて管理しています。鍵は管理者のみが使用できるようにしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	口頭での意思疎通が難しい方は絵カードや筆談等に対応しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9		ご利用者様、その親御様のプライバシー等の配慮が出来、関係者全員が納得出来るようになれば、前向きに検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		9	マニュアルの説明依頼があれば、すぐに説明が出来るように準備しています。	マニュアルは策定しているものの、全ての保護者様に周知、説明が出来ておりません。早急に周知、説明に努めてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		年2回、避難訓練を行っています。	消防署に依頼し訓練等を企画しましたが、コロナ感染予防の為、今年度は内部の避難訓練のみにとどまっています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		年に最低1回は人権擁護をテーマとした外部・内部研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		9	現時点で身体拘束が必要なご利用者様がおられません。	身体拘束の必要性がある場合、事前に説明し個別支援計画に記載することとします。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			保護者様より検査結果を提示していただき、昼食やおやつ時に配慮しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			月に1度の会議の場で共有しています。